

東京都 公立高校の入試制度

【2026年度版】

入試概要

○ 東京都の公立高校入試には、主に推薦選抜、第1次募集、第2次募集があります。

● 2026年度入試より、全日制の分割募集を廃止し、第一次募集で選抜に変更。

昼夜間定時制は分割募集を継続します。

○ 通学区はなく都内のどの高校でも受検することができる、全日制は推薦と第一次の2回の受検機会があります。※島しょを除く

2026年度 入試日程	出願期間	検査日	合格発表
推薦選抜	WEB出願 12/19(金)～1/16(金) 書類提出 1/9(金)～16(金)	1/26(月)・27(火)	2/2(月)
第一次 (分割前期)	WEB出願 12/19(金)～2/5(木) 書類提出 1/30(金)～2/5(木) (志願変更：取下12・再提出13)	2/21(土)	3/2(月)
第二次 (分割後期)	3/5(木) (志願変更：取下6・再提出9)	3/10(火)	3/13(金)

○ 出願は基本的に1校1学科(コース)のみですが、同一学科内に2科(2分野)以上ある場合は、一般推薦は第2志望を、第1次募集・分割前期募集は志望順位を指定することができます。
※芸術に関する学科は除く

調査書

○ 各教科の評定と、観点別学習状況の評価を併記しているのが特徴です。

中3の12月末の成績が用いられます。

・各教科の評定…必修9教科について5段階(5・4・3・2・1)

・観点別学習状況の評価…9教科全27項目の観点別に3段階(A・B・C)

○ その他の記載事項

・総合的な学習の時間の内容及び評価

第3学年における総合的な学習の時間で設定した課題および内容と、学習状況・成果に対する評価を文章で記入する。

・諸活動の記録

特別活動等及びその他の学校内外の活動から特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を所見を除いた客観的な記録として記入する。

顕著な成果がなくても、積極的に取り組んでいる活動、人間形成上好ましい影響がある活動やほかの生徒に良い影響を与える活動、3年間継続的に取り組んでいる活動なども記入することができます。

スピーチングテストの結果もこの欄に記載されます。

推薦選抜

○一般推薦、特別推薦（文化・スポーツ等、理数等）の3種類です。いずれも校長推薦が必要です。

・推薦枠 学科ごとに決まった範囲内で、各学校が設定します。
詳しくは「入学者選抜実施方法一覧」で確認しましょう。

・一般推薦 ①個人面接（集団討論を実施する学校は集団討論を含む）
②小論文または作文等

・文化・スポーツ等特別推薦
①面接（個人または集団）②実技、③高校設定の検査（小論文または作文等）
①②は必須、③は必要に応じて実施することができる。

・理数等特別推薦
①個人面接 ②小論文 ③科学分野等の研究に関するレポートに関する口頭試問

○いずれも調査書点と①～③の得点の各得点を総合した成績で選考します。
調査書点は、各教科の評定と観点別学習状況の評価のいずれかを得点化します。

第一次募集

○学力検査は国語・数学・英語・理科・社会の5教科。

・体育科・芸術科は国数英の3教科と実技検査を実施。
・一部の学校では、3教科（国数英）の問題を自校で作成し、共通問題の理・社と合わせて実施。
[自校作成] 日比谷・戸山・青山・西・八王子東・立川・国立・新宿・墨田川・国分寺
※国際高校は英語問題のみを自校作成

○英語スピーキングテスト ESAT-J

ESAT-Jとは、中学校の授業で学んだ英語で「どのくらい話せるようになったか」を測るためのスピーキングテストのこと、タブレット端末で解答音声を録音する方式で実施されます。

ESAT-Jの結果はA～Fで段階評価されるが、**AからFまでの6段階を20点満点で**
A:20点、B:16点、C:12点、D:8点、E:4点、F:0点 として点数化する。

○その他の検査 高校によって、面接・小論文または作文・実技検査を実施。

選考は上記検査・調査書の点数を総合した成績、及びその他必要な資料により行う。

◆学力検査点・調査書点・総合得点の算出方法

【学力検査】各教科100点（一部傾斜あり）

①[体育科・芸術科]学力検査は国数英の3教科 ⇒ 300点満点
②[他の学科]学力検査は国数英理社の5教科 ⇒ 500点満点

【調査書点】学力検査教科の評定の合計+他の教科の評定の合計×2倍

①75点満点 ②65点満点

【総合得点】**学力検査点:調査書点を、①6:4 ②7:3で1000点満点に換算。**

点数化したスピーキングテスト結果(20点満点)を加えた1020点を**総合得点**とする。

その他に実施した検査があれば得点化して加点する。